

鯉ヶ沢町商工会行動プラン

～テーマ：地域・観光資源を活かした販路開拓と新たな産業創出への支援～

(1) 商工会を取り巻く環境の現状と将来の姿

○自地域の総括的概要と現状課題

当町の人口は現在約8千5百人である。山、川、海の豊かな自然を背景とした農水産物に恵まれ、一次産業が主たる産業であるものの産業構造の割合は高くなく、三次産業への依存が7割超であり、高齢化社会に対応した医療・介護福祉事業の就業割合が高い。自然環境や歴史・文化を背景とした観光資源が豊富にあり、体験・滞在型観光を推進しているものの宿泊や県外客は多くはなく通過型観光が主流となっていることから、地域経済への波及効果を高める必要がある。町海岸北部に市街地が形成され、また、岩木山から流れる赤石川、中村川、鳴沢川の山間地域の広範囲に約40の集落が散在しているため人口密度は低く、高齢化率も高いことから、町では住民生活の足確保のためコミュニティバスの運行を支援している。町では雇用確保と創業、空き店舗支援、「あじがさわブランド」の確立による地域活性化、洋上風力発電事業の進展に伴う産業振興と新産業の創出に取り組んでいる。

○人口動態

人口は過去10年で約23%（2千6百人余り）減少しており、2045年には約4千人まで減少するとの推計がでている。また、高齢化も進み、20年ほどで労働者人口は3分の1に、65歳以上の割合も約40%から約65%となり、今後も進むことが想定される。

○商工業者や小規模事業者の動向

過去10年ほどで商工業者数は約30%減少、7割以上が小規模事業者である。本会独自調査では年率換算で1.5%減となり10年後は292者へ減少する見込みである。

	H23	R3	対比増減	年率換算	R6	R15	R6比
商工業者	571	393	△178	△1.5%	387	335	△52
小規模事業者	471	340	△131	△1.5%	335	292	△43

○その他産業構造など特記事項

令和4年の大雨災害により中村川が決壊し、駅前を中心とした商業地が被災したため空き店舗が増加し、その後の入居が進んでいない。近隣の五所川原市や弘前市は20km以上の距離があるものの比較的回り品や専門品は町外に依存している。

(2) 重点推進施策

○基本的な考え方(ビジョン)

本会は、地域・観光資源を活かした販路開拓を含む経営力強化の支援に取り組み、洋上風力発電事業の進展による新たな産業創出の支援によって、地元中小・小規模事業者の持続的発展に貢献します。

○主な重点推進施策

- ・伴走型支援の強化による経営発達支援事業及び経営改善普及事業の実施
- ・地域食材を活用した観光客の誘客促進支援
- ・地域資源を活用した商品開発及び販路開拓支援
- ・洋上風力発電事業実施に伴う経済波及効果を高める取り組み

(3)重点推進施策を推進するための具体的な取り組み

○支援12項目の現状数値と数値目標の達成

支援項目	創業支援	事業承継	経営革新計画	経営力向上計画
現在値	5件	2件	0件	0件
目標値	6件	7件	4件	1件
支援項目	持続化補助金	経営計画策定支援	経営改善普及事業	マル経融資・件数
現在値	2件	3件	2,224件	4件
目標値	10件	17件	2,224件	8件
支援項目	マル経融資・額	記帳継続指導	記帳機械化	労働保険
現在値	27,500千円	32件	60件	75件
目標値	38,454千円	61件	60件	168件

※現在値は令和5年度の値、目標値は10年後の目標値

○上記以外の具体的な取り組み

- ・DX化に取り組む事業者への専門家の派遣、個別相談会の実施
- ・「鱒ヶ沢イカのカーテンまつり」の実施
- ・展示会や商談会等の情報の提供とECサイト等IT活用による販路開拓支援
- ・洋上風力発電事業者と地域事業者の連携支援と新産業創出支援

(4)実施し得る体制(環境)

○あるべき体制

現在、本会は旧官公庁街に位置する商工会館を拠点として事務局長、経営指導員2名、補助員1名、記帳専任職員2名の計6名で運営している。商業集積がある海岸部、集落が散在する山間部までの移動距離が約20kmあるため、定期的巡回訪問をメインとしつつもオンラインを活用した支援環境を構築する必要がある。対話と傾聴によるコミュニケーションを通じた支援体制の構築には安定した組織体制づくりと財政基盤の強化が必要である。

(5)体制(環境)づくり(時間軸)

本会独自調査によれば、10年後に小規模事業者数が300名を切り、補助対象職員の減員が見込まれるものの、当面は現体制を維持できる見込みであることから、中期的なスパンでその後の支援体制のあり方を検討していきたい。

(6)特記事項

○町との協調体制の確立と安定的な支援の継続

町がすすめる雇用確保と地域活性化、洋上風力発電事業の進展による産業振興と新産業の創出へ本会が貢献するには、町と経済関係団体が参画する鱒ヶ沢町経済連絡会議で経済動向などの共有を継続し、連携を深めながら商工業の安定的で持続可能な支援に取り組む必要がある。そのことから、商工会に対する安定的な支援について確実なものとするため、町当局には本会及び本会が取り組む事業について一層の理解を求めている。